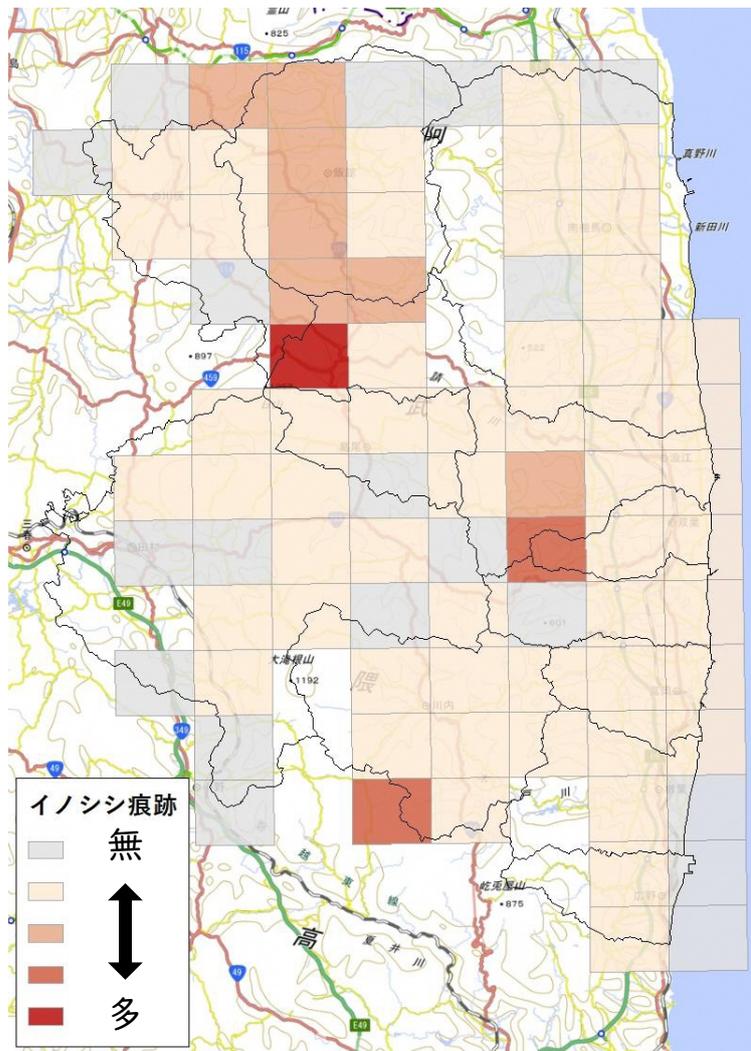


鳥獣対策だより

イノシシの痕跡、歩いて数えてみた！

どこが多い？



2024年度の調査結果

左の地図は、毎年行っているイノシシ痕跡調査の結果です。この調査では、イノシシの出没頻度を把握することを目的とし、道路沿いにある、掘り返し、足跡、糞などの痕跡を数えています。

色が濃いエリアほど、イノシシの痕跡が多くあったことを示しています。痕跡が多いということは、出没も多くあったと考えられます。

2024年度の結果は、12市町村全体では、出没が少ないエリアがほとんどでした。ただし、飯舘村や、浪江町、双葉町、川内村などの一部で、比較的出没の多いエリアがありました。このエリアでは、突発的にイノシシと遭遇してしまうかもしれません。外出する際には、十分ご注意ください。

どれくらいの距離を調査しているのか？

2024年度の総調査距離は、約730kmでした。調査期間中は調査員がひたすら歩き、道沿いの痕跡を数えています。調べてみたところ、福島県から大阪府まで移動する距離とほぼ同じでした！

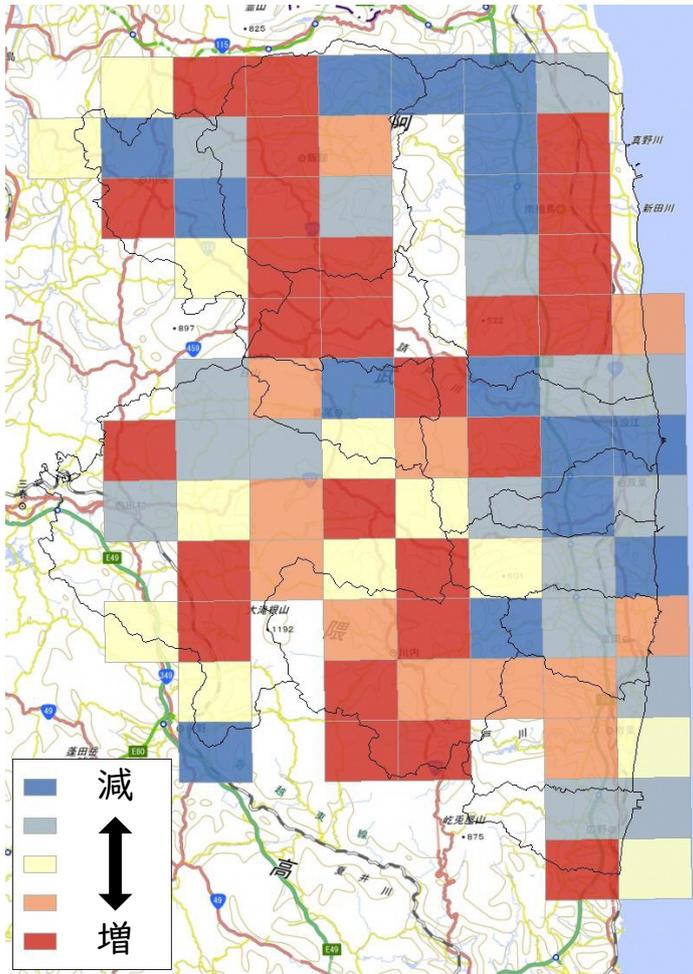


調査の様子

過去との比較は裏面をチェック

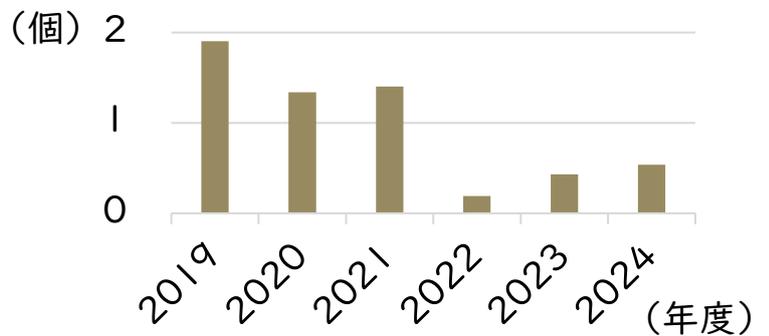
増えた？減った？

2024年度の結果は、お伝えしましたが、過去と比べてどうだったのかを見てみましょう。下の地図は2023年度と比較したときの増減を示しており、赤いエリアほど増加傾向が強いことを示しています。右下のグラフは、2019年度から2024年度までの12市町村全体の100mあたりの痕跡数を示しています。



地図では、山に近い地域を中心に赤いエリアが目立ちます。グラフを見ると、2021年度以前と比較すると少ないですが、イノシシの病気（豚熱）が流行した2022年度以降は、増加傾向にあります。

2025年度以降、人の生活圏へのイノシシの出没が増加してしまうかもしれません。イノシシによる被害を防ぐために、できる対策から始めてみましょう。



痕跡数の変化 (2023→2024)

100mあたりのイノシシ痕跡数

イノシシの生態や対策、その他の鳥獣対策については過去の「鳥獣対策だより」をご覧ください。スマホやタブレットで右のQRコードを読み込むか「**福島県 鳥獣対策だより**」で検索！



福島県では、避難地域鳥獣対策支援員を避難地域12市町村に配置しています。地域住民と共に鳥獣害対策に取り組み、コミュニティの再構築を図ることを目的としています。



対策のご相談、情報提供はお住まいの市町村役場の担当課へ！